

あかみねけんじ  
**赤嶺謙二**



**水資源の確保から  
反対**

**質** いま、小倉木地区（大野町）で産廃の最終処分場問題が浮上している。

水は、いのちと健康を守るうえで最も重要な資源と考える。

立地規制型の水源保護条例を制定する考えは。

**答** 市長

市としても、県に対し書面にて「建設反対」の意思を表明しました。

条例の制定については、調査・研究の目的で職員2名を「全国産廃問題市町村連絡会」のある御嵩町（岐阜県）に派遣しています。解決に向けて最後まで頑張りたい。

**往療支援の光と影**

**質**

通所して治療することができない方のために、はり・灸・あん摩・マッサージ・指圧の訪問による往療支援がある。現在の実績は。

**答**

生活環境部長

医師の同意書により保険者（市）が許可すれば、適用となります。

昨年10月から本年3月診療分で、延べ230人、240万952円となっております。



▶「かなりこつてますね」

**厳正なエツクと  
説明を。**

**答** 生活環境部長

実態調査シートで基準を定め、審査会で判定することとしました。5月分は、申請書86人中10人しか保険適用がありませんでした。

今後は、施術者への説明も考えたい。

えとうたつや  
**衛藤竜哉**



**元氣な豊後大野っ子を  
育てよう**

**質** 幼児教育と幼保一元化に対する考え方と取り組みは。

**答** 教育長

平成18年度から、公立幼・保の関係者会議や合同学習会などを進めてきました。

保護者の就労体系、少子化による家庭や地域の教育

力の低下などで、保育所、幼稚園の存在が大きくなっています。

しかし、施設数を考え、整理・統合を進めなければならぬことや、財政的理由による民営化を考えざるを得ないなど、課題が山積しています。

**質**

「地産地消」を謳った学校給食の在り方を伺う。

**答**

教育次長

地元生産者と子供たちが食材を通して、互いに顔が見える関係を構築することで、食べ物や郷土を大切にできる心の育成を図ることができると考えています。

地元産品だけの給食の献立は、現状では品目数が少ないことや数量の確保、食材価格の観点から作成するのが困難ですが、積極的に栄養士と検討していきたい。

**ガンバレ消防**

**質**

消防職員の技術、資質の向上・施設整備

**答** 消防長

「教育・訓練計画」

を毎年作成し、県消防学校の専科教育科への入校や救急救命士の育成を行っています。

また、最低必要な資格の習得を積極的に進めたいと考えています。

施設整備は、「第一次豊後大野市総合計画」より、検討していくことになっていきます。

※そのほかの質問  
地域医療



▲おいしい給食、いっぱい食べてね